

みなさんおめで とうございます

第74回全日本バレーボール高等学校選手権大会 山形県代表として本町出身選手が出場

1月5日～9日に東京体育館で行われた第74回全日本バレーボール高等学校選手権大会に山形県男子代表として山形中央高校が出場しました。

本町出身の長堀諒大さん（3年・下堀野 左）と高橋陽太さん（2年・上朝丸 右）が出場。

6日の2回戦から登場し、昨年4強の尼崎市立尼崎高校（兵庫県）と対戦、見事に逆転勝利しました。3回戦は、足利大学付属高校（栃木県）と対戦し、惜しくも敗れましたが、ベスト16入りを果たしました。

長堀さんは「最初で最後の全国大会で、今の仲間と戦えたことをとても誇りに思います」と、高橋さんは「途中出場でしたが、サーブやブロックでチームに貢献することができてよかったです」と、それぞれ話してくれました。



佐藤楓眞さん、祥子さん親子が 全国親子クッキングコンテスト東北地区大会で優勝

11月11日に仙台市で行われた「第15回ウィズガス全国親子クッキングコンテスト東北地区大会」にて、佐藤楓眞さん（余目二小5年・田谷）、祥子さん親子が見事優勝しました。

「まるごと山形の恵みいただきますご飯」と名付けたその料理は、土鍋で炊いた「芋煮ごはん」や「庄内豚のしゃぶしゃぶ山形のだしソース」など、名前のとおり山形の食材をふんだんに使ったメニューです。

祥子さんは「一昨年は県大会に出場したが、そのときの経験も活かしながら、息子と一緒にメニューの開発をした。嫌いな食材も、自分で料理すると食べてくれてうれしい」、楓眞さんは「3年生の頃はお母さんからほぼ作ってもらったけど、今年は高学年になってやれることが増えた。手間も増えたけど、食材を使っておいしく見せるような彩りを考えることなどが楽しかった」と話していました。



スポーツ・健康まちづくり優良自治体表彰に 庄内町が輝きました

東京五輪・パラリンピック以降もスポーツ推進の機運を継続していこうと、令和3年度にスポーツ庁が新設した「スポーツ・健康まちづくり優良自治体表彰」に全国30自治体を選出され、県内で唯一庄内町がその栄光に輝きました。

本町では「スポーツ合宿等で作る地域活性化計画」を策定し、宿泊施設でもある余目第四公民館を活用したスポーツ少年団などの合宿受け入れや町内で合宿を行う団体への補助金制度、月山龍神マラソンなどによる誘客の取組みなどが評価されました。

東京都で行われた表彰式に富樫町長が出席し、「町の取組みが全国に発信できてありがたい。この受賞が町民のみなさんが生涯スポーツに取り組むきっかけになれば」と話していました。



▲スポーツ庁提供。富樫町長と室伏広治スポーツ庁長官

令和3年度庄内町総合表彰式

1月6日、令和3年度庄内町総合表彰式が開催され、地方自治・スポーツ振興・社会教育振興などの各分野で功績のあった方16人に表彰状、30人・8医療機関・1団体に感謝状が贈られました。

受賞者一覧 ※敬称略

○**表彰状**：原田眞樹（廿六木）、阿蘇隆一（荒鍋）、石川昭一（中堀野）、丸山豊（馬場）、小林幸徳（今岡）、鈴木重良（烏町）、大瀧克男（上幅）、佐藤富美（猿田町）、齋藤真希（南野）、新関愛翔（酒田市（庄内総合高校））、土岐正富（上朝丸）、工藤浩喜（新田目）、五十嵐光博（島田）、原田直人（貢地目）、河村伸宏（宮城県）、松浦安雄（鶴岡市）

○**感謝状**：菅原正志（南野）、佐々木寿春（余目新田）、足達ゆみ子（下朝丸）、舘林由美子（上幅）、日下部茂（深川）、佐藤敦（廻館）、松田茂夫（宮曾根）、山田喜則（吉岡）、梅木浩己（家根合）、檜山喜美一（京島）、八木優（荒宿）、富樫林治（沢新田）、阿部耕治（沢新田）、石塚敏（新町）、佐々木作治（御殿町）、日野功喜（松陽）、和嶋武美（酒田市）、志田征子（古関）、佐藤啓子（駅前・余目）、志田啓子（上幅）、長永一男（生繰沢）、工藤久美（古関）、遠田雅弘（提興屋）、丸山秀喜（川端）、兼古由香（東一番町）、成澤孝之（緑町・余目）、石塚徹（新町）、田澤富雄（東興野）、（医）阿部内科胃腸科医院、（医）奥山医院、（医）かとう医院、（医）斎藤整形外科医院、（医）徳洲会庄内余目病院、（医）天真堂菅原医院、（医）崇仁会成澤医院、森田内科クリニック、小林功（鶴岡市）、三浦恒祺（鶴岡市）、農産加工グループばーむさんく

